

新人歯科衛生士・デンタルスタッフ

# 院内マニュアル



院長必携!

『ポケットマニュアル』  
～院内版～

江澤庸博 著

## 1 子どもの患者さんへの対応

子どもでもあまり子ども扱いしないことがポイントです。自覚をもって受診してもらうようにしましょう

### 名前のよび方

小学生以上は「さん」付けでよび、子ども扱いしないほうがよいでしょう。

### 声かけ

- チェアに座らせてからは、「今日はみるだけ」など、アシスタントは診療に関することは言わないようにしましょう。
- 「痛くないよ」は禁句です（痛いこともあり、嘘になると不信感を招いてしまいます）。代わりに「今日ががんばろうね！」など、前向きな内容の声かけにしましょう。



### ぼしぼしり 母子分離

- 子どもが術者の言葉に集中できるように、原則として付添人（お母さんなど）には待合室で待ってもらうようにします。3歳以下の幼児やどうしてもじっとしていられない子どもの場合は付添人が同席したり、抱いて診療したりすることもあります。

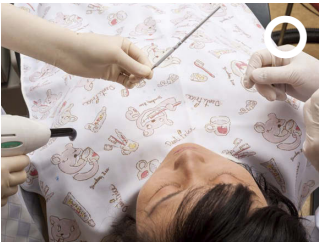
### 3 器具の手渡し

臨機応変に対応できるようにしましょう

#### 器具の手渡しの注意点

- 患者さんの顔の上で行ってはいけません。
- 術者が口腔内から目を離さないですむように手渡します。
- ピンセットやエキスポローラー（探針）等は，使用部位（上顎・下顎）を考慮し，術者が受け取る方向，術者の次の動作などを考えたうえで手渡します。

#### ■良い例：患者さんの顔の上を避けた位置で渡す



#### ■悪い例：患者さんの顔の上で渡す



歯科で使用する器具は先の尖ったものが多く，万一顔に落としたら危険です。そのため，患者さんの顔の上を避けて受け渡しをするのが原則です。

# ペースト・ペーストタイプのセメントの練和

## 手順

1

### 準備

ペーストタイプセメント  
付属の練板  
スパチュラ

1



2

### 計量

ペーストは2つ  
セットになって  
います。それぞ  
れのチューブから、  
同じ太さになる



ように、ペーストを練和用のパット上にゆっくり絞り出します<sup>2</sup>。長さが決まったら、練板にディスペンサーを直角にして絞りきるようにします<sup>3</sup>。

※2つのチューブの大きさは同じメーカーとそれぞれ違うメーカーがあります。

3

### 練和

ペーストは色が  
違う場合がほと  
んどなので、色む  
らがなくなるま  
で、均一に、すば  
やく練和します<sup>4</sup>  
~<sup>7</sup>。



このとき、違う向  
きに直行するよ  
うに意識して練  
和すると、早く確  
実に練和することができます。



POINT !

2色がむらなく1色になれば練和完了です！

## 補綴（クラウンブリッジ・義歯・総義歯）治療に使用する器材

### 補綴用器材

#### ① リムーバー

クラウンやブリッジを口の中から撤去するとき、補綴物に引っかけて使用する



#### ② テンポラリークラウン撤去用鉗子（タオルクランプの長いもの）

テンポラリークラウンを除去する際に使用する



#### ③ リムーバブルブライヤー（GC）

金剛砂こんごうさを使用して、クラウンなどの補綴物を口腔内から撤去するのに使用する



金剛砂

#### ④ 厚さゲージ（キャリパー）

補綴物調整時などにクラウンなどの厚さや薄さを測定する器材



#### ⑤ 咬合器

技工作業の際、口腔内の噛み合わせを再現するための器材で、咬合診断にも使用する

インサイザルピン

インサイザルガイド  
（パナデント咬合器®）



## 患者さんの容体が急変したとき

緊急時の対応について院内で事前に話しあっておく必要があります。

- 救急処置に必要な器具と設置場所

<b>酸素ボンベ</b> 設置場所 ( ) 	<b>AED</b> 設置場所 ( ) 
<b>救急薬</b> 設置場所 ( ) 	<b>血圧計</b> 設置場所 ( ) 
<b>パルスオキシメータ</b> 設置場所 ( ) 	<b>マニュアル</b> 設置場所 ( ) 歯科医のための救急処置マニュアル (医歯薬出版) 

- 緊急時の対応は Dr. と一番経験のあるスタッフがいき、判断後の指示が最もスムーズに伝わる体制とします。受付はその場を離れず、いつでも 119 番できるように電話を空けておきます。

### 119 番通報

119 : はい 119 番です。火災ですか？  
救急ですか？



こちらは〇〇歯科医院です。

診療中に患者さんが急変したため救急要請をいたします。



住所は \_\_\_\_\_ 区 \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 号の \_\_\_\_\_ 前です。



患者さんの状況は \_\_\_\_\_ です。



電話番号は \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ です。

よろしくお願いいたします。

